

研究授業 遠隔授業による知的書評合戦 「ビブリオバトル」の実践研究

国語科 西村準吉・内野賢一共同研究（東京都私学財団研究助成）

2017.11.28 14:00-15:00

中学3年生 内野賢一教諭担当授業
佼成学園中学校 中学3年教室 または 学びの森

ICT

東京 私立
佼成学園中学校

ビブリオ
バトル

奈良県 生駒市立
光明中学校

佼成学園中学校3年生と奈良県生駒市立光明中学校2年生の教室をインターネットで繋いで互いの会場の画面に投影し、知的書評合戦「ビブリオバトル」の公開授業を行います。ICTを活用した授業が浸透し、遠隔授業の可能性も探っている東京の私立佼成学園と、生駒市というビブリオバトルの盛んな地域で多くの経験を積んできた光明中学校が、オンラインでビブリオバトルを行い、「異文化交流」をするという新しい試みです。

～ビブリオバトル公式ルール～ （「ビブリオバトル」公式WEBより）

- 1 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する。※今回は「ミニビブリオバトル」形式のため3分間。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

観戦歓迎!

KICK OFF EVENT 11.16 17:30 START 国語科教員によるビブリオバトル @学びの森



佼成学園中学高等学校

「研究内容」(東京都私学財団提出の研究計画書から抜粋)と本研究授業の経緯

- ❖ これまで読書指導の定番は「読書感想文」や「朝読書」が中心であったが、新学習指導要領の方向性を見据えたとき、協働学習やプレゼンテーションなどの表現学習の一環として読書に関わる取り組みを取り入れていくべきであると考えている。
- ❖ 京都大学発祥の「ビブリオバトル」は、一人5分間で持ち寄った本の紹介を行い、それを題材にディスカッションをするというシンプルなルールの書評合戦だが、読書指導・プレゼンテーション能力育成・協働学習などの面で大きな学習効果が期待される。
- ❖ 奈良県生駒市は「生駒ビブリオ倶楽部」というWEBサイトを運営するほど、ビブリオバトルの普及に力を入れており、全国大会にも生徒を出場させている。今回は共同研究者の内野教諭と生駒市立光明中学校の篠原嶺教諭が、3月に行われた全国大会に生徒を引率した際に知り合い、今回の研究授業の企画が持ち上がった。
- ❖ 内野教諭担当の佼成学園中学3年生では国語の授業の一環としてビブリオバトルの指導を行い、他校との対戦ができるレベルの生徒を選出する。光明中学校とも事前に打ち合わせを行い、研究授業として対戦が行われるように調整する。
- ❖ 遠隔授業については、西村が平成26年度に助成を受けた「国語授業におけるICT活用の可能性～遠隔授業による和歌の実作を題材にして～」において、複数の通信方式と授業活用の利便性について調査を進めており、本研究においては佼成学園がICT設備を備えていることを活用しながら、スカイプなどを使った、遠隔地にある学校とのリアルタイムの対戦という方式を採ろうと考えている。
- ❖ 光明中学校はビブリオバトルは盛んであるがICT環境はまだ未整備のため、佼成学園からテクニカルサポーターとして萩原知明教諭を派遣して現場の補助に当たってもらう。
- ❖ 本研究授業にあたって、ビブリオバトル創始者である立命館大学谷口忠大教授に取材し、助言を受けた。また、「京都まちセンビブリオ」・「ビブリオバトルシンポジウム2017」などのイベントにおいて、ビブリオバトル普及委員会の方々から多くの示唆を頂戴した。また、生駒市公共図書館の向田館長らの協力も仰いだ。
- ❖ 以上、本研究は国語教育におけるICT活用の幅を広げるということに留まらず、学校と社会・地域との連携という方向も模索しながら、ビブリオバトルを通じて生徒の知的好奇心の涵養や協働学習への視座を育むことを主眼としたい。

佼成学園中学高等学校 国語科 西村 準吉

お問い合わせ

佼成学園中学高等学校 (担当:西村 準吉)

〒166-0012 東京都杉並区和田2-6-29

TEL 03-3381-7227 / FAX 03-3380-5656

E-Mail j-nishimura@kosei.ac.jp



地下鉄丸ノ内線 方南町駅より徒歩5分